

## 酪農学園大学が最先端のロボット牛舎を新築

—学生が未来型酪農を実践的に学べる教育環境を整備—

### 基本コンセプト

- ロボットやAI、ICT等の先端技術を導入し、省力化と効率化を図るとともに、学生が未来型酪農を実践的に学べる教育環境を整備する
- 国際的な動物福祉（アニマルウェルフェア）の潮流に対応し、科学的根拠に基づく快適な飼養環境を実現する
- 建学の精神である「健土健民」の理念のもと、自然・土壌・家畜・人の健やかな循環を目指す教育農場を構築する

### ロボット牛舎新築の概要

酪農学園大学（北海道江別市/学長：岩野英知）は、2026年5月の完成を目指して学内に最先端のロボット牛舎の新築する計画を進めています。

現在の牛舎は2000年11月に竣工し、教育・研究活動に活用されて現在に至ります。牛舎の更新は四半世紀ぶりとなります。

新たな牛舎には、自動搾乳ロボットをはじめ、ミルククーリングシステム、給餌ロボットや除糞ロボットなど、AIやICTを駆使した最先端技術を導入することにより、省力化と効率化を図るとともに、学生が未来型酪農を実践的に学べる教育環境を整備することを目指しています。

建設場所は、現在の育成舎等を解体した場所に新たに建設する計画であり、8月19日から旧施設の解体工事を開始しました。

また、ロボット牛舎の完成後に、子牛を飼育する哺育舎を建設し、自動哺乳機（カーフフィーダー）を導入予定です。

なお、これらの施設は、2026年4月に開設予定の「農環境情報学類」においても、中核的な教育・実習施設となる計画であり、同年の運用開始を目指して準備を進めています。

本学は、新たな牛舎新築により、昨今さまざまな課題に直面している『酪農』を『楽農』へと転換することを目指しています。最先端の施設を整備するだけでなく、建学の精神に基づいた実践的な学びを提供することで、未来の地域と農業の創造に貢献できる人材養成を続けていきます。



# Press Release

## ロボット牛舎の完成イメージ



## 導入予定の自動搾乳ロボット



**【問合せ先】** 〒069-8501 江別市文京台緑町 582 番地  
酪農学園フィールド教育研究センター センター長 高橋 俊彦  
学園事務局 農事課 課長 佐藤 雄平  
電話：011-386-1111 FAX：011-386-1214  
E-mail: koho@rakuno.ac.jp



RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY  
酪農学園大学

